

講師 茂木喜久雄

# 経済学

第 1 問 ある個人の効用関数を  $X^{\frac{1}{2}}$  であるとし、各問に答えなさい。

- (1) この個人をもとに「限界効用逓減の法則」について説明しなさい。
- (2) この個人の所得が 0.6 の確率で 900 万円、0.4 の確率で 1600 万円とする。  
今、この個人が合理的に期待する所得を保障する保険を購入できるとき、その保険に対して支払える最大の保険料はいくらになるか。この個人が効用を最大化させること、この個人が危険回避者であることを前提に説明しなさい。

第 2 問

インフレーション（物価上昇）の原因を、貨幣残高（貨幣量）の増加に求める主張がある。

この議論を 2 つの視点からアプローチし、その結果として現行のデフレ問題をどのように解決すべきかを言及するとともに、ケインズ派の主張である「有効需要」をコントロールすることによってインフレもデフレも同時に解決できるという主張と比較しなさい。